

トライアングル★No.41

◆教育目標「一つ上をめざす」～心と力をあわせて～ ◆努力目標「いい顔・いい声・いい心」
◎目指す子供像…あきらめない子・おうえんする子 ◎2019年度テーマ《挑戦と創造》



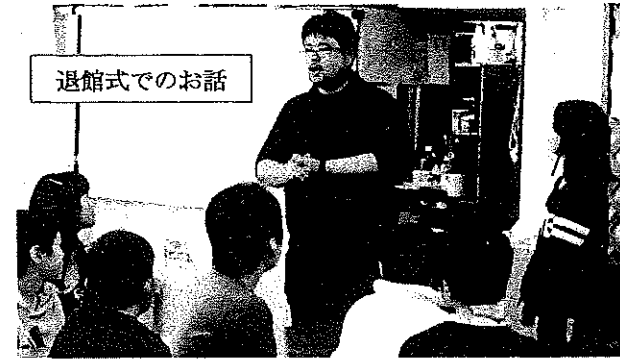
みんなで雪遊び・そり滑り

2泊3日のハチ高原。自然学校と同じ宿舎。子供たちは、季節による風景の違いにびっくり。25日出発の湊小学校は実施することができましたが、27日以降出発の学校は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。(市教委通達)

ぎりぎりセーフの「冬季野外活動」！6年



ホームページに掲載した通り、雪がようやく降り積もり、ぎりぎり新雪で存分に遊ぶことができました。宿舎でも、規律ある生活態度で昨年度に比べ、とても成長していました。楽しい時間も共有して、小学校生活最後の宿泊行事を終えました。



退館式でのお話

精神的な成長が、一人一人の言動に表れていました。自然の厳しさも感じ、集団規律を学び直す「貴重な体験学習」でした。

◆態度のよかった6年生に…

1. どんな人を友達にすべきか

人の話をきちんと聴く人。聴かない人は友達にはしたくないよね。

2. どんな人を助けたいかな

何かをしてもらっても当たり前と思う人と感謝する人がいる。絶対に感謝する人を助けたいかな。⇒これからも「人の話を聴く人」で「感謝する人」であってください。

感染拡大防止を目的とした一斉臨時休業についての神戸市の対応(速報)

- ① 3月2日(月)は、午前中みの授業・給食無し
- ② 3月3日(火)以降は、全校種とも臨時休業【3月15日(日)までの予定】

湊小学校としての対応(速報)

- ① 3月2日(月) 通常通りの集団登校・4校時まで授業・給食無し
12:30まで授業のため、12:40頃に下校予定
 - ② 3月16日(月) 学校再開の予定(延長の可能性有・後日保護者に連絡)
1. 連絡体制 … 未接続や不具合のある方は状況確認のうえ、使用可に！
・ミマモルメを主軸とします。「学校全体 及び 各学年単位でのお知らせ」について今後も活用していきます。本校や神戸市教育委員会のホームページにも注目してください。(ネット環境のため、内容には一定の制約あり)
 2. 家庭学習 … 自発的な学習として、内容等を推奨しています。
・3日以降の家庭学習については、担任等より紹介しておきますので、計画的に進めてほしいと思います。
 3. 生活上の留意点 … この約2週間の過ごし方がとても重要です。
・「生活リズムの崩れ」(例；ゲームやスマホ等の長時間使用から)や「大人のいない家での遊び」「迷惑行為や危険行為」などにご注意ください。
★裏面には国発行の「スマホ時代の子育て」の内容を一部掲載しています。



Q 子どもがゲームをしたいと言います。親はどう対応したらいいでしょう？



子どもをゲームで遊ばせる場合は、保護者がゲームの内容や使用時間について判断し、上手にコントロールしてあげることが大切です。

早くから習慣的にゲームをする
と、その後のゲームへの依存度に影
響が出る可能性があります。
とはいえ、「お友だちと遊ぶのに
ゲーム機がほしい」といったご家庭
もあるでしょう。

最初に、ゲームの内容が子どもの
年齢に適正なものか保護者が判断
し、使用時間などコントロールをして
あげることが大切です。
また、外遊びの時間を十分確保し
てあげることも大切です。



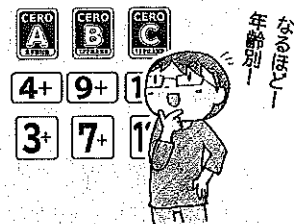
Q ゲームの内容が、子どもに遊ばせてもよいものかどうか、正しく判断するにはどうしたらいいですか？



ゲームソフトやアプリに表示されている「〇歳以上」という年齢区分マーク(レーティング)を活用しましょう。

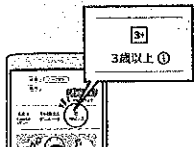
ゲームソフトやアプリには、「〇歳以上」という年齢区分マーク(レーティング)が表示されています。

ゲームの内容が子どもの年齢に見合ったものかどうか、使い始める前に保護者が判断してあげるとよいでしょう。



保護者がしてあげられること 年齢区分マーク(レーティング)の確認

POINT 1 全ゲームに対象年齢基準があります。市販のソフトはパッケージで、アプリはストア内の説明部分で対象年齢を確認し、子どもに合わせたものを選びましょう。



POINT 2 動画視聴の際には、安全で使いやすい子ども専用のアプリがあります。子どものスマホに導入し、活用すると良いでしょう。(例: YouTube Kidsなど)



Q 子どもがスマホやゲームに熱中しすぎて、生活リズムをちゃんと守れるか心配です。



使用時間などをルール化して、生活リズムを守るよう促します。フィルタリングを始めとするペアレンタルコントロールを活用し、使用時間や利用環境を整えてあげましょう。

保護者(ペアレント)は、日頃から、子どもによる機器の使用状況を正しく把握しておくことが大切です。使用状況の把握や、保護者のサポート機能として、ペアレンタルコントロールやフィルタリングを上手に活用しましょう。

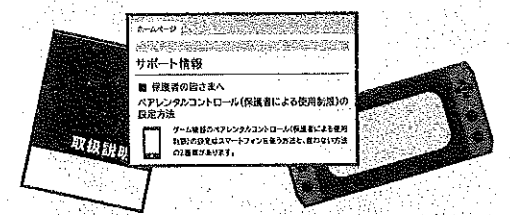


保護者がしてあげられること ペアレンタルコントロールの活用

ペアレンタルコントロールは、子どものスマートフォンやタブレット、ゲーム機の利用状況を、保護者が把握したり、安全管理を行ったりする仕組みです。プレイ時間の制限・調整、課金等の管理、ネットワーク利用の制限、年齢区分(レーティング)のチェック等を行うことが可能です。

POINT 1 OS事業者(Apple・Google等)が提供する、ペアレンタルコントロールのサービスを活用しましょう。

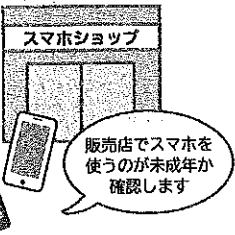
POINT 2 各ゲーム機にもペアレンタルコントロールのサービスがあります。各説明書やホームページなどで確認し、最初に設定しましょう。



保護者がしてあげられること フィルタリングの活用

フィルタリングは、有害な情報やうっかりアクセスによるトラブルから、子どもを守る機能です。

POINT 1 販売店に「子どもが使用する場合がありますので、フィルタリングを使えるようにしたい」と伝えれば、設定してもらえます。



POINT 2 大人が利用する際は、フィルタリングの設定は簡単にオン・オフすることができます。保護者の機器を子どもに貸す場合、契約の切れた端末を子どもが使用する場合なども、フィルタリングを設定することが大切です。